



こんぺいとう病児広報 第4号

厳しい暑さも和らぎ、過ごしやすい日が増えてきました。反面、朝晩の涼しさから体調を崩して熱や咳、鼻水の出る子供たちが増えていきます。季節の変わり目、しっかり手洗いやうがい感染対策を継続しながら、元気いっぱい遊べるようにしましょう。

10月10日は 目の愛護デー



生まれたときは明暗を感じる程度の視力が、6～8歳頃までに大人と同じレベルに完成されます。子どもは視力に異常が生じて、自分で症状を訴えるのが難しい。大切な子どもの目。気になる様子が見られたら、眼科を受診しましょう。そして3つの約束が出来たら褒めてあげよう

目を守る3つの約束

- ①目を休めよう
- ②明るいところで読もう
- ③遠くを見よう



こんな時は心配

- 目を細めて見る
- 片目で見える
- 顔を傾けて見る
- まぶしがる
- いつも涙ぐんでる



【インフルエンザ予防接種】

今年は例年より早くインフルエンザの流行期に入っています。インフルエンザは症状が重く、感染力も強いので予防接種を受けておくと、感染しても症状が軽く済むので安心ではないでしょうか。小さな子どもは免疫が付きにくいので、2回の接種が必要です。ワクチンの効果が十分に出るのは、接種してから2週間後。予防接種の効果は約5か月。早めの接種を検討しましょう。



急な発熱や体調不良でも安心できるよう
病児保育へのご登録を検討ください。

【病児保育の日々】



9月中旬より発熱などで利用するお友達が増えました。お友達の朝のお別れはとても不安いっぱいです。体調不良も重なり悲しさのあまり泣いて寝てしまったり、不安との戦いの中遊びを提供されると、不安も解け始め好きな玩具を選んで遊び始めます。昼食には「イヤイヤ～」と泣いて食べなかったり、薬を飲まないお友達もいます。そんな時は職員が交代したりDVDで似た状況を見せたりと様々工夫しながら対応しています。泣いて嫌がっていた子ども、上手に薬を飲めた時は、沢山褒めてあげます。午後になるとお迎えの時間が気になり、「ママは？」と聞いてきます。キチンとお話しすると迎えに来る安心感と状況を理解し、絵本を見たり、滑り台で遊びながら、お迎えを待ちます。夕方お迎え時お別れの「バイバイタッチ～」は、ホッとする時間です。



県内感染状況

9月25日現在（最上地区）

インフルエンザ：0名

・コロナウイルス感染症：67名

・コロナ・リンゴ病は警報レベル



8月・9月の利用人数 17名

病名・気管支炎。咽頭炎・感冒

マイコプラズマ感染症



NPO法人オープンハウスこんぺいとう

病児保育室

ご利用時間／電話対応 8：30～17：30

電話 29-2301



登録利用児 募集中

